

■ 檜原市人口推計 パターン別推計結果

資料2-3

※合計特殊出生率は、前回の2020年以降をそのまま採用
※合計特殊出生率（～2040年）は、前回の2020年以降をそのまま採用
※合計特殊出生率は、2020年の1.50を始点、2060年の1.83を終点とし比例配分

資料

※合計特殊出生率1.83＝国民希望出生率

●推計に使用した合計特殊出生率（仮定値）

※合計特殊出生率2.07＝人口置換水準（人口が増加も減少もしない均衡した状態となる合計特殊出生率）

	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
前回ビジョン	1.37(現状値)	1.40	1.50	1.60	1.70	1.80	1.83	1.90	2.00	2.07	2.07
パターン①・②			1.50	1.60	1.70	1.80	1.83	1.90	2.00	2.07	2.07
パターン③・⑤			1.50	1.60	1.70	1.80	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83
パターン④・⑥			1.50	1.54125	1.58250	1.62375	1.66500	1.70625	1.74750	1.78875	1.83
社人研H30			1.41535	1.40081	1.40625	1.41226	1.41588	1.41849	1.41849	1.41849	1.41849

●推計パターン

	前回との比較	自然増減	社会増減
パターン①	前回の推計と考え方を大きく変えず、時点修正のみとする。	2040年に合計特殊出生率1.83に、2060年に2.07 ^{※3} に到達	転出超過を0 ^{※1}
パターン②	自然増減は前回と変えず、社会増減のみ修正	2040年に合計特殊出生率1.83に、2060年に2.07 ^{※3} に到達	転出超過を1/2に抑える ^{※2}
パターン③	自然増減を修正し、社会増減は前回と変更なし	2040年に合計特殊出生率1.83に、それ以降は維持	転出超過を0 ^{※1}
パターン④	自然増減を修正し、社会増減は前回と変更なし。	2060年に合計特殊出生率1.83に到達	転出超過を0 ^{※1}
パターン⑤	自然増減及び社会増減の両方について、修正する。	2040年に合計特殊出生率1.83に、それ以降は維持	転出超過を1/2に抑える ^{※2}
パターン⑥	自然増減及び社会増減の両方について、修正する。	2060年に合計特殊出生率1.83に到達	転出超過を1/2に抑える ^{※2}
社人研H30	自然増減は前回と変えず、社会増減のみ修正	合計特殊出生率1.4強で推移	2010年から2015年の移動傾向が2045年まで続き、2045年以降はその値で推移

※1 2020年までは社人研の設定値、2020年以降は0
※2 2020年までは社人研の設定値、2020年以降は社人研設定値の1/2



●推計結果

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
パターン①	124,111	121,973	120,473	118,339	115,807	113,051	110,306	107,786	105,123	102,265
パターン②	124,111	121,973	119,769	116,959	113,825	110,473	107,180	104,138	100,978	97,643
パターン③	124,111	121,973	120,473	118,339	115,807	113,051	110,120	107,166	103,909	100,438
パターン④	124,111	121,973	120,291	117,809	114,767	111,526	108,195	104,894	101,340	97,620
パターン⑤	124,111	121,973	119,769	116,959	113,825	110,473	106,998	103,536	99,806	95,885
パターン⑥	124,111	121,973	119,589	116,436	112,803	108,983	105,126	101,339	97,337	93,195
社人研H30	124,111	121,688	118,179	113,862	109,040	103,944	98,775	93,617	88,185	82,525
前回ビジョン	125,153	124,427	122,841	120,634	118,112	115,316	112,475	109,737	106,863	103,873

●推計結果グラフ

